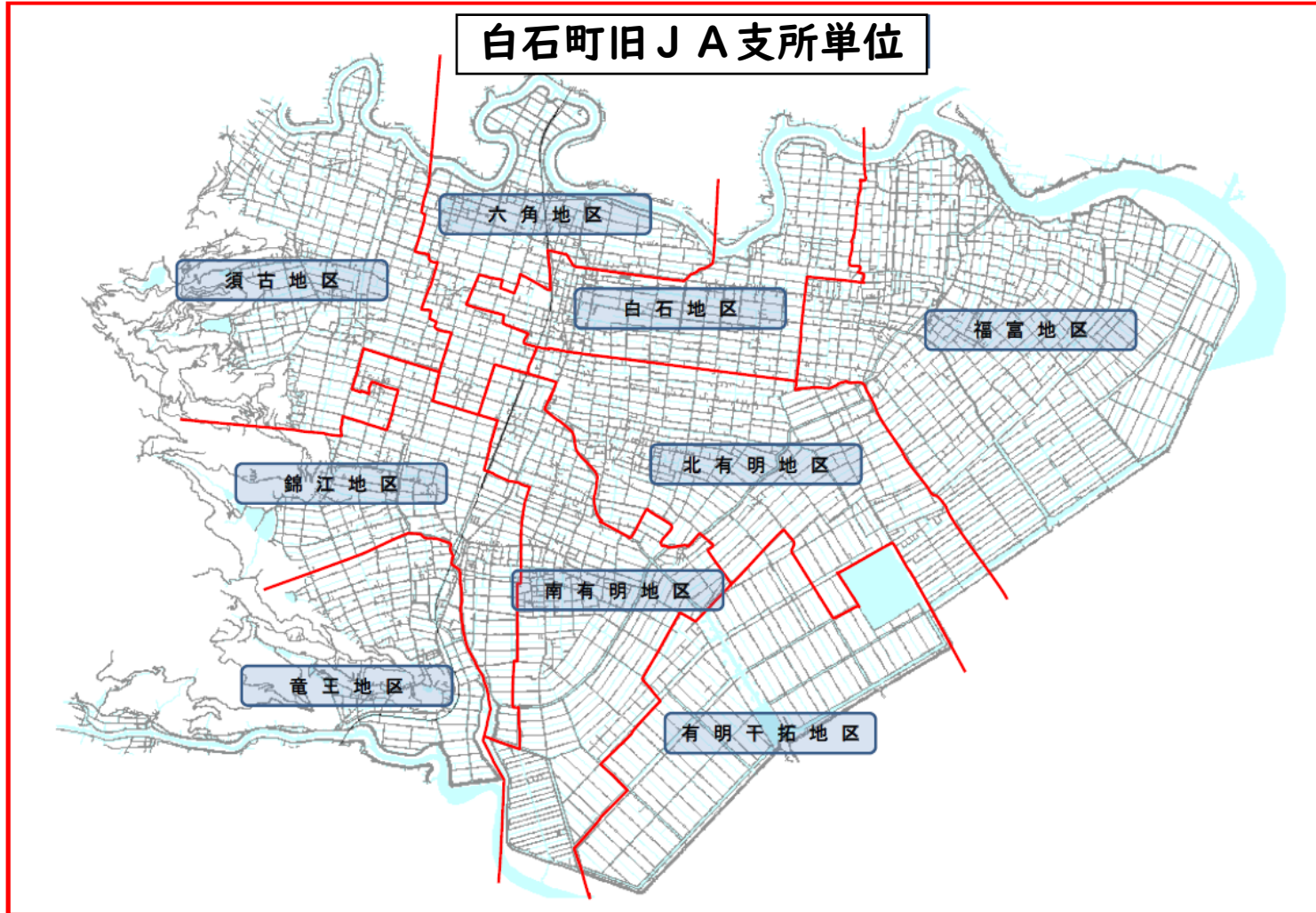


農地の集約化の取り組みについて



白石町農業委員会

地域計画の作成



- 白石町は、令和 6 年度に旧農協支所単位の 9 ヲ所に地域を分け地域計画図を作成しました。

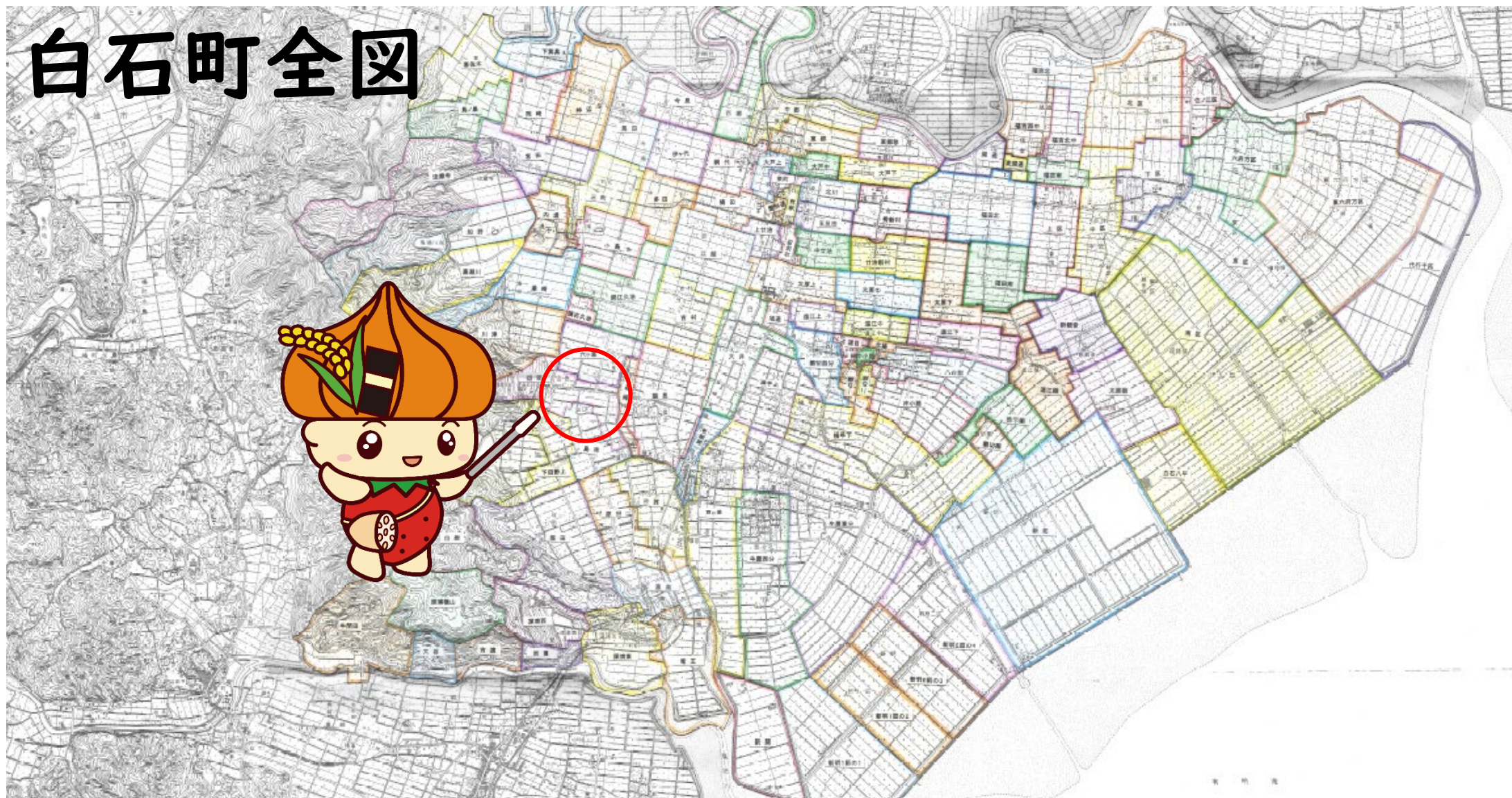
集約マップ作製の経緯

- 6月に、県の担当職員より、「地域計画から、より一歩進んだ地図を作りたい。10年後の農業者に集約したい。」と熱く語られ、担い手農業者を中心とした集積・集約に特化した地図の作成を勧められた。
- 当初は「農地補完図」と言われており、地域計画を補助するものと感じました。
- その後、県の農業経営課よりモデル地区として県内3地区選定。その中の1か所を白石町とすることとなった。

集約マップを作製する地区の選定

- 大まかなゾーニングをして集約補完図を作りたいとのことでしたので、旧農協支所単位の地域計画では大きすぎたので、集約マップ作製を行う地区は、10年後に、担い手となる農業者が6経営体あり、地域の中心として活動している農業法人もあるため有明地域の辺田地区を選定しました。
- 担当する課より辺田地区出身の職員がいたため円滑に進めることができました。

白石町全図



耕作者に対しての地元説明会

令和7年8月4日

- 辺田地区の、耕作者に通知を出し趣旨の説明と、10年後も担い手として活躍する農業者、法人を選出しました。

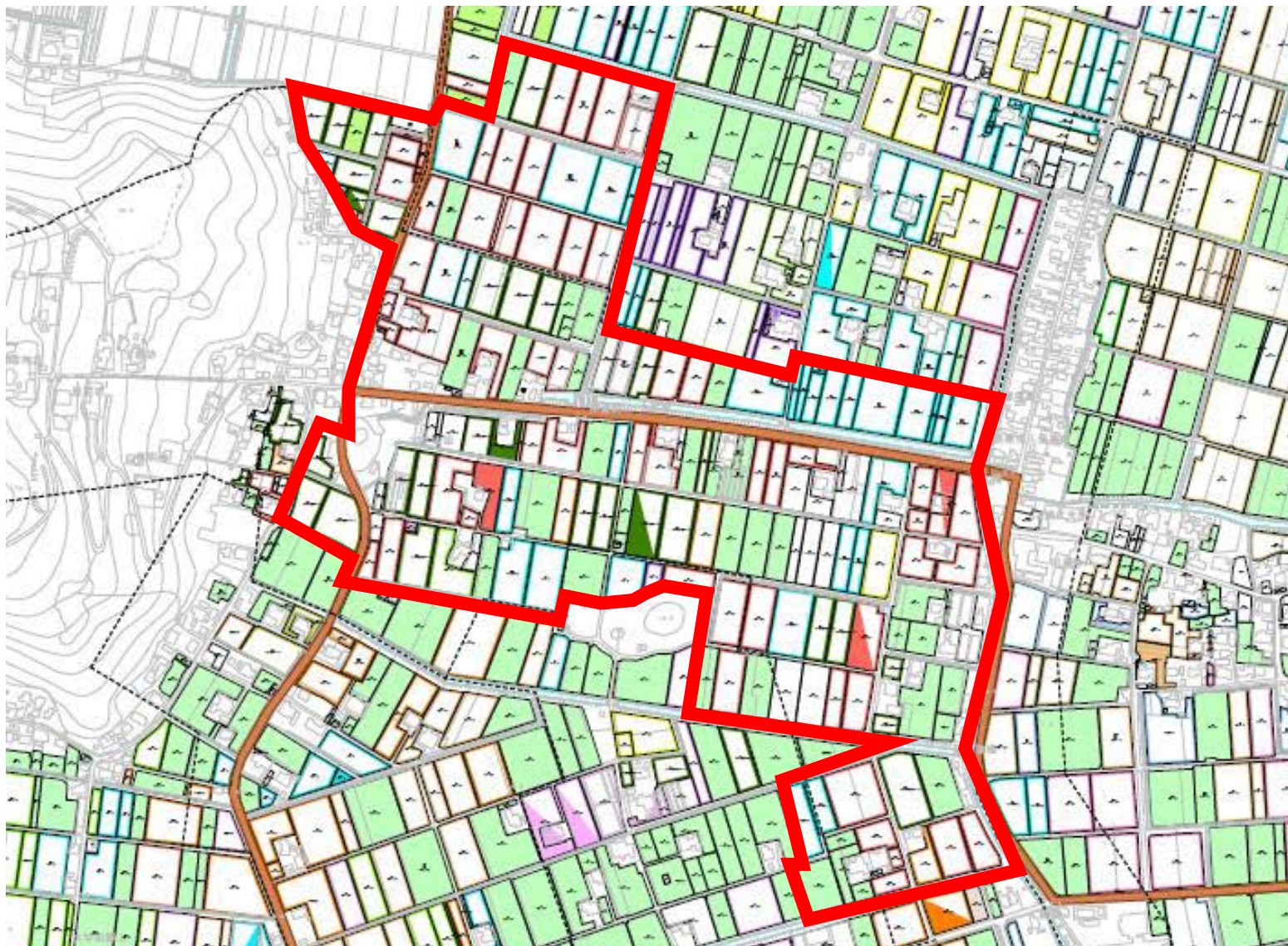


令和7年9月1日

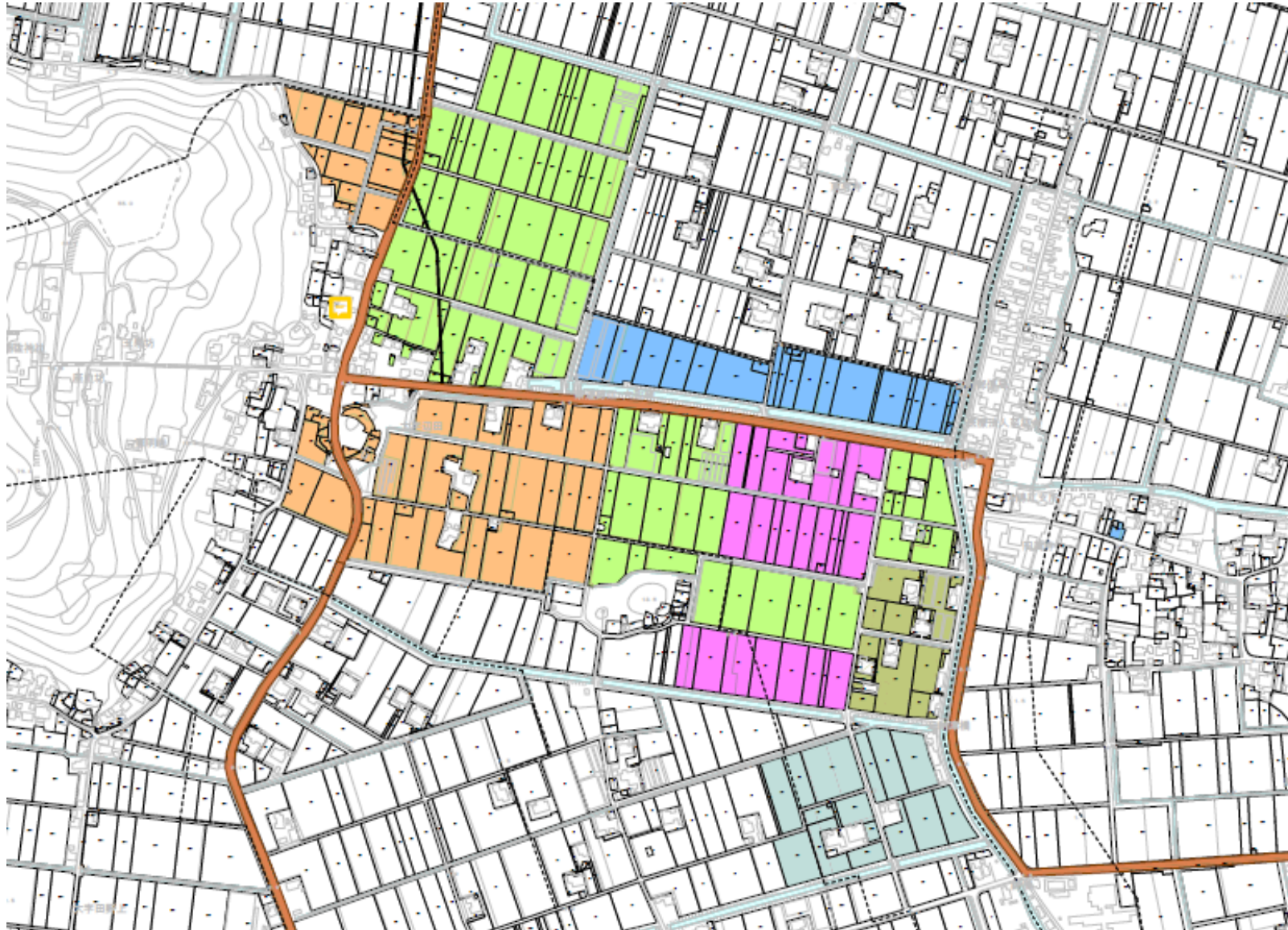
- を行いました。



地域計画の地図と白紙の地図を準備し、担い手農業者が意見を出して自分が管理を希望する農地を示していききました。



地域計画図では
26経営体が辺田
地区の農地を耕
作しています。



集約マップ

6 経営体が農地を耕作する
集約マップが
完成しました。



地権者説明会

令和8年1月28日

- 出来上がりました集約マップを、地権者に公表し、これに沿って農地を貸し出す、売買を行っていただきたいと説明しました。この後、集約マップは公民館に張り出しています。



今後の課題

- 令和8年からは、集約マップに沿って利用権のやり直しや、売買を行っていきたいと考えています。
- 白石町は、道路から宅地進入路を経て家があり、農地の中に宅地がある場合が多く、そのような農地の借受、買受が進めていくことが課題と思われます。



